持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉についての生産行程管理者の認証の技術的基準の一部を改正する件 新旧対照表

○持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉についての生産行程管理者の認証の技術的基準（令和2年3月17日農林水産省告示第512号）

（下線部分は改正部分）

改正後	改正前
<p style="text-align: center;">持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉についての生産行程管理者等の認証の技術的基準</p> <p>1 適用範囲 この基準は、登録認証機関及び登録外国認証機関（以下“<u>認証機関等</u>”という。）が日本農林規格等に関する法律（昭和25年法律第175号）第10条第2項及び第30条第2項の規定に基づき行う持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉についての生産行程管理者及び外国生産行程管理者（以下“<u>生産行程管理者等</u>”という。）の認証の技術的基準を規定する。</p> <p>2 （略）</p> <p>3 用語及び定義 この基準で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、JAS 0013による。</p> <p>3.1 卵用鶏養鶏業者 <u>生産行程管理者等</u>のうち、卵用鶏を飼育し、鶏卵を生産する者</p> <p>3.2 肉用鶏養鶏業者 <u>生産行程管理者等</u>のうち、肉用鶏を生産する者</p> <p>3.3 卵選別包装業者 <u>生産行程管理者等</u>のうち、鶏卵の選別、包装等を行う者</p> <p>3.4 食鳥処理業者 <u>生産行程管理者等</u>のうち、肉用鶏の食鳥処理を行う者</p> <p>3.5 鶏卵流通業者 <u>生産行程管理者等</u>のうち、鶏卵を小分けする者</p> <p>3.6 鶏肉流通業者 <u>生産行程管理者等</u>のうち、鶏肉を小分けする者</p> <p>4 生産行程の管理又は把握の実施方法</p> <p>4.1 （略）</p> <p>4.2 内部規程</p> <p>4.2.1 内部規程の整備</p>	<p style="text-align: center;">持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉についての生産行程管理者の認証の技術的基準</p> <p>1 適用範囲 この基準は、登録認証機関及び登録外国認証機関（以下“<u>認証機関</u>”という。）が日本農林規格等に関する法律（昭和25年法律第175号）第10条第2項及び第30条第2項の規定に基づき行う持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉についての生産行程管理者及び外国生産行程管理者（以下“<u>認証生産行程管理者等</u>”という。）の認証の技術的基準を規定する。</p> <p>2 （略）</p> <p>3 用語及び定義 この基準で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、JAS 0013による。</p> <p>3.1 卵用鶏養鶏業者 <u>認証生産行程管理者等</u>のうち、卵用鶏を飼育し、鶏卵を生産する者</p> <p>3.2 肉用鶏養鶏業者 <u>認証生産行程管理者等</u>のうち、肉用鶏を生産する者</p> <p>3.3 卵選別包装業者 <u>認証生産行程管理者等</u>のうち、鶏卵の選別、包装等を行う者</p> <p>3.4 食鳥処理業者 <u>認証生産行程管理者等</u>のうち、肉用鶏の食鳥処理を行う者</p> <p>3.5 鶏卵流通業者 <u>認証生産行程管理者等</u>のうち、鶏卵を小分けする者</p> <p>3.6 鶏肉流通業者 <u>認証生産行程管理者等</u>のうち、鶏肉を小分けする者</p> <p>4 生産行程の管理又は把握の実施方法</p> <p>4.1 （略）</p> <p>4.2 内部規程</p> <p>4.2.1 内部規程の整備</p>

次の事項について、内部規程を具体的かつ体系的に整備しなければならない。ただし、卵用鶏養鶏業者にあつては b) 及び d) 2) を、肉用鶏養鶏業者にあつては a), b) 2) 及び d) 1) を除き、卵選別包装業者にあつては a) 2), h) 5) 及び i)～r) に、食鳥処理業者にあつては b), e) 2), h) 5) 及び i)～r) に、鶏卵流通業者にあつては a) 2), h) 5) 及び k)～r) に、鶏肉流通業者にあつては b) 2), h) 5) 及び k)～r) に限る。

a)～e) (略)

f) JAS 0013 の 5.5 に規定する周辺環境への配慮に関する事項

周辺環境への配慮に関する事項には、次の事項が含まれる。ただし、鶏ふんの処理又は保管の用に供する施設（以下“鶏ふん処理施設”という。）に送風装置、かくはん装置等を設置していない場合は、5)を除く。

1)～5) (略)

g)～p) (略)

q) 年間の生産計画の策定及び当該計画の認証機関等への通知に関する事項

r) 生産行程の管理又は把握の実施状況についての認証機関等による確認等の業務の適切な実施に関し必要な事項

4.2.2・4.2.3 (略)

4.3 生産行程の管理又は把握を担当する者の能力及び人数

生産行程管理担当者及び生産行程管理責任者については、次の事項を満たさなければならない。

a) **生産行程管理担当者** 生産行程管理担当者として、卵用鶏養鶏業者、卵選別包装業者又は鶏卵流通業者にあつては鶏卵の生産行程の管理又は把握に関する知識を有する者が1人以上、肉用鶏養鶏業者、食鳥処理業者又は鶏肉流通業者にあつては鶏肉の生産行程の管理又は把握に関する知識を有する者が1人以上（生産行程管理者等が複数の生産、選別、包装、食鳥処理、小分け等に係る施設を管理し、又は把握している場合にあつては当該施設の数、分散の状況等に応じて適正な生産行程の管理又は把握を行うのに必要な人数以上）置かれていなければならない。

b) (略)

5 生産行程の管理又は把握に係る記録の作成及び保存

5.1 生産行程の管理又は把握に係る記録の作成

4.2.2 の結果を次の事項を含め記録し、保存しなければならない。ただし、卵用鶏養鶏業者にあつては b) 及び d) 2) を、肉用鶏養鶏業者にあつては a), b) 2) 及び d) 1) を除き、卵選別包装業者にあつては a) 2), h) 5) 及び i)～o) に、食鳥処理業者にあつては b), e) 2), h) 5) 及び i)～o) に、鶏卵流通業者にあつては a) 2), h) 5) 及び k)～o) に、鶏肉流通業者にあつては b) 2), h) 5) 及び k)～o) に限る。

a)～e) (略)

f) 周辺環境への配慮に関する事項（JAS 0013 の 5.5 参照）

周辺環境への配慮に関する事項には、次の事項が含まれる。ただし、鶏ふん処理施設に送風装置、かくはん装置等を設置していない場合は、5)を除く。

1)～5) (略)

g)～o) (略)

5.2 生産行程の管理又は把握に係る記録等の保存

5.2.1 5.1 の a)～j) の記録及び当該記録の根拠となる書類は、卵用鶏養鶏業者、卵選別包装業者及び鶏

次の事項について、内部規程を具体的かつ体系的に整備しなければならない。ただし、卵用鶏養鶏業者にあつては b) 及び d) 2) を、肉用鶏養鶏業者にあつては a), b) 2) 及び d) 1) を除き、卵選別包装業者にあつては a) 2), h) 5) 及び i)～r) に、食鳥処理業者にあつては b), e) 2), h) 5) 及び i)～r) に、鶏卵流通業者にあつては a) 2), h) 5) 及び k)～r) に、鶏肉流通業者にあつては b) 2), h) 5) 及び k)～r) に限る。

a)～e) (略)

f) JAS 0013 の 5.5 に規定する周辺環境への配慮に関する事項

周辺環境への配慮に関する事項には、次の事項が含まれる。ただし、鶏ふんの処理又は保管の用に供する施設（以下“鶏ふん処理施設”という。）に送風装置、かく拌装置等を設置していない場合は、5)を除く。

1)～5) (略)

g)～p) (略)

q) 年間の生産計画の策定及び当該計画の認証機関等への通知に関する事項

r) 生産行程の管理又は把握の実施状況についての認証機関等による確認等の業務の適切な実施に関し必要な事項

4.2.2・4.2.3 (略)

4.3 生産行程の管理又は把握を担当する者の能力及び人数

生産行程管理担当者及び生産行程管理責任者については、次の事項を満たさなければならない。

a) **生産行程管理担当者** 生産行程管理担当者として、卵用鶏養鶏業者、卵選別包装業者又は鶏卵流通業者にあつては鶏卵の生産行程の管理又は把握に関する知識を有する者が1人以上、肉用鶏養鶏業者、食鳥処理業者又は鶏肉流通業者にあつては鶏肉の生産行程の管理又は把握に関する知識を有する者が1人以上（認証生産行程管理者等が複数の生産、選別、包装、食鳥処理、小分け等に係る施設を管理し、又は把握している場合にあつては当該施設の数、分散の状況等に応じて適正な生産行程の管理又は把握を行うのに必要な人数以上）置かれていなければならない。

b) (略)

5 生産行程の管理又は把握に係る記録の作成及び保存

5.1 生産行程の管理又は把握に係る記録の作成

4.2.2 の結果を次の事項を含め記録し、保存しなければならない。ただし、卵用鶏養鶏業者にあつては b) 及び d) 2) を、肉用鶏養鶏業者にあつては a), b) 2) 及び d) 1) を除き、卵選別包装業者にあつては a) 2), h) 5) 及び i)～o) に、食鳥処理業者にあつては b), e) 2), h) 5) 及び i)～o) に、鶏卵流通業者にあつては a) 2), h) 5) 及び k)～o) に、鶏肉流通業者にあつては b) 2), h) 5) 及び k)～o) に限る。

a)～e) (略)

f) 周辺環境への配慮に関する事項（JAS 0013 の 5.5 参照）

周辺環境への配慮に関する事項には、次の事項が含まれる。ただし、鶏ふん処理施設に送風装置、かく拌装置等を設置していない場合は、5)を除く。

1)～5) (略)

g)～o) (略)

5.2 生産行程の管理又は把握に係る記録等の保存

5.2.1 5.1 の a)～j) の記録及び当該記録の根拠となる書類は、卵用鶏養鶏業者、卵選別包装業者及び鶏

卵流通業者にあつては鶏卵の出荷の日から 2 年間、肉用鶏養鶏業者にあつては肉用鶏の出荷の日から 3 年間、食鳥処理業者及び鶏肉流通業者にあつては鶏肉の出荷の日から 3 年間保存しなければならない。

5.2.2 (略)

6 格付の組織及び実施方法

6.1 (略)

6.2 格付規程の整備

次の事項について、格付に関する規程（以下“格付規程”という。）を具体的かつ体系的に整備しなければならない。

a)～i) (略)

j) 格付の実施状況についての認証機関等による確認等の業務の適切な実施に関し必要な事項

6.3 (略)

6.4 格付を担当する者の能力及び人数

格付担当者及び格付責任者については、次の事項を満たさなければならない。

a) **格付担当者** 格付を担当する者として、卵用鶏養鶏業者、卵選別包装業者又は鶏卵流通業者にあつては鶏卵の生産行程の管理又は把握及び格付の実施方法に関する知識を有する者が 1 人以上、肉用鶏養鶏業者、食鳥処理業者又は鶏肉流通業者にあつては鶏肉の生産行程の管理又は把握及び格付の実施方法に関する知識を有する者が 1 人以上（生産行程管理者等が複数の生産、選別、包装、食鳥処理、小分け等に係る施設を管理し、又は把握している場合にあつては当該施設の数、分散の状況等に応じて適正な格付を行うのに必要な人数以上）置かれていなければならない。

b) (略)

卵流通業者にあつては、鶏卵の出荷の日から 2 年間、肉用鶏養鶏業者にあつては、肉用鶏の出荷の日から 3 年間、食鳥処理業者及び鶏肉流通業者にあつては、鶏肉の出荷の日から 3 年間保存しなければならない。

5.2.2 (略)

6 格付の組織及び実施方法

6.1 (略)

6.2 格付規程の整備

次の事項について、格付に関する規程（以下“格付規程”という。）を具体的かつ体系的に整備しなければならない。

a)～i) (略)

j) 格付の実施状況についての認証機関による確認等の業務の適切な実施に関し必要な事項

6.3 (略)

6.4 格付を担当する者の能力及び人数

格付担当者及び格付責任者については、次の事項を満たさなければならない。

a) **格付担当者** 格付を担当する者として、卵用鶏養鶏業者、卵選別包装業者又は鶏卵流通業者にあつては、鶏卵の生産行程の管理又は把握及び格付の実施方法に関する知識を有する者が 1 人以上、肉用鶏養鶏業者、食鳥処理業者又は鶏肉流通業者にあつては、鶏肉の生産行程の管理又は把握及び格付の実施方法に関する知識を有する者が 1 人以上（認証生産行程管理者等が複数の生産、選別、包装、食鳥処理、小分け等に係る施設を管理し、又は把握している場合にあつては、当該施設の数、分散の状況等に応じて適正な格付を行うのに必要な人数以上）置かれていなければならない。

b) (略)